

1. はじめに

(1) 流体を、圧力をシールするために…。

Oリングはつぶし代を与えて使用するタイプのシールの中で最も代表的なシール製品です。

現在では、合成ゴムが主流ですが19世紀中頃に蒸気機関のシリンダ用シールとして初めて登場した際には鋳鉄製であったと言われています。その後、弾力のある天然ゴムでの成立を経て1940年代に入り、今日私たちが使用している合成ゴム材が主流になり、このことによってシールする媒体も空気、水、ガス、油と多種多様な流体をシールできるようになりました。

特に第二次世界大戦中に航空機の油圧系統に使用され、そのシールの信頼性の高さから、急速に一般の空圧・油圧機器にも使用されることになり、現在に至っています。高い信頼性を維持するには適切な使用、設定はもちろんですが、材料の選定や品質も重要なポイントとなります。

NOKでは、長年に亘り培ってきた材料技術を更に強化すべく湘南開発センターを設立しております。このセンターで今まで以上に充実した基礎研究もできるようになったことで、益々多様な用途、要求に応じた材料開発が出来る体制になったと考えております。

また、NOKはグローバルな視点から海外展開をしておりますが、そのOリングの拠点、マザー工場として位置付けております熊本工場は、更なる飛躍を目指して07年4月に全面建て替えを行いました。この新工場は、より良い構内環境の実現などで、更なる品質向上、安定を目指せる状態になったと自負しております。

NOKのOリングは、既に世界各国の幅広い産業分野から厚い信頼を寄せられるに至っておりますが、現状に満足することなく弛まぬ材料開発と信頼性・品質の高いOリングの生産を通じて、多様化、高度化するお客様のご要望に応え続けていきたいと考えております。

【密封装置の分類】

